

キャラクター名
冬賀 理久 (とうが りく)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	エンジニア
	モルフェウス					
オプション			年齢	25	性別	男
覚醒	感染	衝動	自傷	初期侵食率	30	%
出自	天涯孤独	経験	喪失	邂逅	同士	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	3	0	0			3	行動値	9
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	9
精神	1	0	0			1	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	8		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
琥珀配列XXX[ゲノムナンバー・XXX]	射撃	4r+16	8			装甲値無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
----	----	----	----	----	----

所持品	
コネ: 噂好きの友人	
コネ: UGN	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 患者の黄金P		N		
旧友	P 尽力	N 悔悟		
テレーズ・ブルム	P 慈愛	N 不安		
	P 遺志	N 悔悟		
	P 純愛	N 嫌気		
	P 慕情	N 憤懣		
	P 尽力	N 嫌気		

最大財産P: 8 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ハンドレッドガンズ	1	3	マイナー					
効果:	種別:射撃 技能:射撃 命中:0 攻撃力:+5 射程:30m							
コンセントレイト(ブラックドッグ)	2	2	メジャー					
効果:								
アタックプログラム	5	2	メジャー					
効果:	達成値: +LV*2							
バリアクラッカー	2	4	メジャー				80	
効果:	装甲値無視							
雷攻撃	5	2	メジャー					
効果:	攻撃力:+LV*2							
砂の加護	3	3	オート					
効果:	D: +LV+1							
砂塵霊	2	3	オート					
効果:	攻撃力: +LV*4							
電子使い	★							
効果:								
万能器具	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

機械いじりが好き。
 孤児で両親の顔は知らないが、友人や施設の人との関係は良好だったため、それほど寂しさは感じていなかった。
 しかし友人を失っておりそれがトラウマで回りに踏み込むのが苦手になる。故に、距離を保つためいつもニコニコして、誰にでも敬語。
 テレーズ・ブルムとは知り合い、情報交換をよくやっている

施設育ちで、両親の顔は知らない。
 性格に特に難ありという感じもなく平々凡々な人物であった。
 しいて言うなら、ほんの少し人より手先が器用だったということだけ。
 そんな中、同じ施設の子の壊れたおもちゃを直したことがきっかけで、その子と特に仲良くなり親友となる
 その時、おもちゃを直したことを褒められたことが子供ながらに嬉しかったので、そのまま「ものを直す」ということに特化していく。
 現在は、その特技と趣味を生かし、エンジニアをやっているが、大抵のものは何でも修理、もしくは作ることが可能。
 基本的にシンドロームに頼ることなく、自分の力で行うようにしてる

友人と出かけているときにとある人に声を掛けられる
 その人がなにを言ったのか、覚えてないけど、差し出された“それ”になんとなく触ってしまった。
 その瞬間、一何が起こったのかここもよく覚えてない。
 ただ、自分もボロボロだったが、隣にいた友人は、もっと酷かった。
 たたただ困惑している自分に、「やっと正気に戻ったかよ」と彼は笑って、命尽きた
 何が起きたのかわからなくて、ただ、自分の手には不思議な石を握っていた